

会 議 録

会議の名称	中学校再編に係る地域説明会（南方地域）	
開催日時	令和4年10月25日（火）	
	午後7時00分開会	
	午後8時00分閉会	
開催場所	南方農村環境改善センター ホール	
事務局（教育委員会）氏名	教育長	小野寺 文晃
	教育部長	小林 和仁
	次長兼教育総務課長	菅原 正博
	次長兼学校教育管理監	飯川 弘芳
	学校再編推進室長	白岩 登世司
	学校再編推進室長補佐兼学校再編推進係長	千葉 道宏
	学校再編推進室 主査	西條 文武
	学校再編推進室 主事	佐藤 春香
参加者数	16人	
事務局	開会 午後7時00分	
教育長	挨拶	
事務局	配布資料に基づき「中学校再編の考え方及び今後の進め方」、「中学校再編準備委員会の設置」について説明	
事務局	意見交換・質疑応答	
参加者	統合された場合、学校が建って、子どもたちが集まるようになるのは、開校は令和12年以降になるというスケジュールか。	
事務局	<p>豊里、米山、南方による南部地域としているおり、令和7年から11年までに、再編準備委員会、次に開校準備委員化を設置して協議し、令和12年度の開校を目指して進めていきたい。</p> <p>統合校の校舎は、まだ決まっていないので、これから協議していくことになる。</p>	
参加者	資料10ページについて、説明会を同じ年度にした理由は何か。ずらして、例えば北部、西部が5年度、南部が6年度というようにはならないのか。	
事務局	地域説明会は、今回の説明会を示したものである。東部は来年度から協議を開始するが、南部地域は協議開始まで2年もあるので、再編準備委員会が始まる前に、説明は必要だと考えている。	
参加者	南部地域ということで、非常に広範囲な土地で、学校がどこにできるか分からない中で進めていくこととなる。現時点で、教育委員会でどこに作るかという予想は立っていないのか。	
事務局	学校の場所については、南部地域で再編準備委員会を設置し、協議していただき、どの場所が良いかということを決めていきたい。	

	<p>スクールバスについても、特に帰りは、普通に帰る子どもと、部活のことも考えて運行してほしいという要望もいただいている。再編準備委員会、開校準備委員会を進めていく中で、意見をいただきながら、皆さんと一緒に検討していきたい。</p>
参加者	<p>3ページに、校舎などの有効活用ということで、改修などと書いてある。活用する学校と、他の残った学校施設は、別々に単独で考えているのか。横のつながりはないのか。学校の再編だけを考えているのか。教育委員会だけではないと思うが、そのすり合わせは行っているのか。</p>
事務局	<p>使わなくなった学校も同時でできればいいが、統合のために、まずはどの学校を使うかという議論が必要になってくる。その後となるが、まちづくりの部分もあるので、教育委員会だけでは進められない。関係部署と一緒に、地域の皆さんから意見をいただきながら、その有効活用については、その後に進めていきたい。</p>
参加者	<p>中学校の再編を小学校と並行して進めるということで素晴らしいと思う。校舎、施設の有効活用を考えたときに、小学校が空いた中学校施設を使うという可能性もあるということか。</p> <p>そうなったときには、小学校の再編スケジュールの変更もありえるのか。</p>
事務局	<p>中学校の場所は、これから決めることになるが、もし中学校が空けば活用できるかもしれない。</p> <p>今、東和地域では、統合する小学校を東和中学校校舎に併設することで進めている。そうなる、例えば小学生に使えるようにするためのトイレや階段、プールの高さなどの改修が必要となる。</p>
参加者	<p>説明の趣旨からして、この方針には賛成するが、南部地域については最後になる。子どもたちのことを考えると早い方が良い。</p> <p>そのような中で、地域には、学校、郵便局、JAも支店がなくなってきている。総合支所もこれからどうなるか分からない。公共施設がなくなってくると、地域の核がなくなってきて、コミュニティをどうするかという問題も出てくると思う。</p> <p>中学校、小学校の子どもたちがその地区にいないことによって、そういう寂しさが出てくるということを含めて、学校だけでなく、地域の和、憩いの場、人が集まる、そういうコミュニティの課題を含めて考えてほしい。</p>
事務局	<p>もともとの原因は人口減少と少子高齢化が一番大きい。まず、影響を受けているのが少子化で、学校を統合せざるを得ない状況になっている。</p> <p>地域にとって学校は大事な場所であり、子どもがいるから周りの人も集まるという拠点になっている。</p> <p>小学校が1つになったり、中学校も全体で10校あるものが4校になったりするが、地域にとっての大きな課題であると考えている。</p> <p>人口もどんどん減っており、21あるコミュニティも成り立たないような状況も考えられる。そういった面からすると、教育委員会がそれを主導するわけにもいかないが、市として将来的にコミュニティを合わせていくなどということも含めた検討も考えなくてはならない。市全体の問題でもあるので、関係</p>

	<p>部署と相談していきたい。</p>
参加者	<p>各町村では、給食の無償化など、子どもを増やす方法を考えている。登米市でも統合するだけでなく、何とか子どもを増やす方策をしていかなければならないのではないかと。教育委員会でも、市に働きかけて、子どもたちが住めるような、集まるような地域にしてほしい。</p>
事務局	<p>登米市だけでなく、日本全国で同じ状況だが、それぞれ子育て支援、生活しやすい、子どもを産みやすい、育てやすいというような政策を、様々に工夫して行っている。</p> <p>給食の無償化について、本市でも、すぐに実施するのは難しい。子どもを育てやすいまちをつくっていくため、いろいろな部署で、考えを出しながら政策を進めている状況なので、いただいた意見を含めて、しっかりと関係部署と連携していきたい。</p>
参加者	<p>令和20年に中学校を4つにした場合の生徒数は、単純に計算すると、南方、米山、豊里地域を合わせて355人、迫地域は390人、中田、石越地域は260人、津山、登米、東和地域は125人となり、だいぶ差がある。この場合、1クラスの生徒数はどうなるのか。</p> <p>また、給食センターについて、中学校が4つになった場合、どのように運営していくのか。</p>
事務局	<p>1学級あたりの人数について、現在は1年生が35人、2年生と3年生が40人となっている。</p>
事務局	<p>給食センターについて、市内には5カ所の給食センターがある。学校の統合に合わせて、給食センターの統合も同時並行で検討している。</p> <p>南方にある西部給食センターが最も新しい施設だが、中田にある北部センター、津山、東和のほか、豊里にある南部センターは老朽化が進んでいるため、集約化も検討している。</p>
参加者	<p>年に何回か、統合に関わる文書が配られる時に、統合の目安の時期も書いてもらった方がよい。統合の話が出ると、いつになるかわからず不安になるので、時期を示してもらった方が安心して子どもを預けられるし、心構えもできる。</p>
事務局	<p>再編準備委員会の話し合いの中で、統合の時期や場所などを決めていくので、再編準備委員会の結果については、チラシの全戸配布、ホームページへの掲載や各学校のPTAルームを活用し、周知していきたい。</p>
参加者	<p>スクールバスを運行することだが、スクールバスを利用しなくてもいいのか。また、南方、米山、豊里の子どもが佐沼中学校に行くのもありなのか。</p>
事務局	<p>スクールバスは運行するが、場合によっては、保護者の送迎もあるようなので、必ずスクールバスを利用しなければならないということではない。</p> <p>通学区域外の学校への通学について、学区外就学というものが手続き上はあるが、条件はある。</p>

参加者	豊里と米山の説明会での内容は公表されるのか。また、本日の意見を住民に知らせることはあるのか。
事務局	会議録等の作成作業があり、時間はかかるが、説明会の会議録はホームページに掲載する予定としている。時間がかかるが、周知に努めたい。
事務局	小学校の再編状況について説明
事務局	閉会 午後8時00分